

# 暁鐘

ぎょう

しょう

大山公民館だより【674号】



第115号  
R5.10.1発行

日田市大山公民館  
日田市大山町西大山 3600 番地  
TEL:0973-52-3255 FAX:0973-52-3315  
ホームページ <http://www.hita-k.org/oyama/>  
メールアドレス: oyama-k@hita-net.jp

## 第17回大山公民館まつり開催！

日時 令和5年11月26日(日)  
午前9時～午後3時(雨天決行)

場所 日田市大山文化センター、大山公民館

主催：大山公民館まつり実行委員会

### 内容

○大山公民館自主学习教室生による学習発表ほか

○ラッキーくじ抽選会

○外部ゲスト団体のステージ発表

・日田もりあ下駄い

・日田藤蔭高校吹奏楽部

○移動水族館がやってくる！

・ヒトデ・ナマコなど海の生物に触れるタッチプールがあります。

○ものづくりワークショップ

11月26日(日)は

「大山スマイルマルシェ」の日！

(大山スマイルマルシェ実行委員会主催)

10:00～16:00

旧大山振興局跡地で同時開催

※第17回大山公民館まつりの詳しいチラシ・  
芸能発表プログラムは広報ひた11月15日  
号とともに全戸配布予定です。

## 5日間集中 「スマホ基礎講座」 参加者募集！

【日程】 10月16日(月)、17日(火)、19日(木)、20日(金)、23日(月) 5日間

【時間】 19:30～21:00(夜間)

【場所】 大山公民館

【内容】 Line、アプリダウンロード、QRコード、スマホ決済など

【講師】 横尾正治さん

【対象】 大山地区在住の成人一般

【定員】 8名(締め切りは10月6日までですが、定員になり次第締め切らせていただきます)

【参加費】 1,000円(初日に徴収します)

【準備物】 スマートフォン、筆記用具 ※メモ帳があると便利です。

【申込方法】 ①電話にて申込み(大山公民館 ☎52-3255)

②メールにて申し込み(大山公民館メールアドレス: [oyama-k@hita-net.jp](mailto:oyama-k@hita-net.jp))

③ファックスにて申し込み(大山公民館 FAX 番号 0973-52-3315)

①②③いずれの方法でも構いません。氏名、住所、携帯番号、スマホ機種をお知らせください。(様式は特にありません)

## 地区巡回健診「大山会場」

期 日 10月20日(金)  
健診会場 大山公民館  
受付時間 午前8時30分～11時00分

※事前に日田検診センターに申し込みをされている方が対象となります。

お問い合わせ先

日田市健康保険課健康支援係 ☎24-3000

## 支援員カフェ同時開催します

期 日 10月20日(金)  
午前9時～正午12時  
場 所 大山文化センター前

大山集落支援員さんによる出張支援員カフェを開催します。※料金はかかりません。

お気軽にお茶を飲みに来てください。

大山集落支援員 三笥 岡部

## 令和6年 日田市 20歳のつどい

開催期日 令和6年1月7日(日)  
午前10時より受付  
午前11時より式典開始  
開催場所 パトリア日田 大ホール  
対象者 平成15年4月2日から平成16年  
4月1日に生まれた方

日田市に住民票がある対象者には日田市から12月以降案内はがきが届きます。

対象者で住民票を日田市外に移している方は、式典に参加を希望する場合事前申し込みが必要です。

お問い合わせ先 日田市社会教育課 ☎22-6868

## 無料巡回相談会

身体・知的・療育・精神に関すること

毎月第3金曜日の午後1時～2時30分、相談支援専門員による巡回相談会をおこなっています。

### 【次回相談会】

期日 10月20日(金)  
午後1時～2時30分  
場所 大山公民館

お問い合わせ先 日田市社会福祉課障害福祉係  
☎22-8290

## 美味しいコーヒーの淹れ方 防災学習 ～女性セミナー



8月23日の女性セミナーは「美味しいコーヒーの淹れ方教室」。日田市田島本町に店舗を構える「ハゼボーコーヒー」店長さんに、豆の選び方、道具の特徴、お湯の温度、淹れる時のコツを教えていただき、会員一人ひとりが実際にコーヒーを淹れる体験をしました。

会員の中には「今まで家で淹れていたコーヒーの味と全然違う」と驚く人もいました。

9月13日の女性セミナーは「防災学習」を福岡市民防災センターでおこない、地震体験、避難訓練、消火器を



使った消火訓練を一人ひとりが体験しました。

また救命救急講習で心肺蘇生の訓練を行いました。

会員は「いつどこで遭遇するか分からない災害への心構えが大切である」と感じていました。

## 大山っ子チャレンジ教室の夏～豊かな自然の中で夏合宿



大山っ子チャレンジ教室児童11名は8月17日から19日にかけて「諫早青少年自然の家」で2泊3日の夏合宿をおこないました。この合宿は前津江公民館・朝日公民館のチャレンジ教室との合同で4年生から6年生の総勢35名の児童が参加しました。

1日目は活動班に分かれての仲間づくり「チームビルディング」プログラムに挑戦、様々な課題を仲間で協力しあいながら解決していきました。

2日目は「沢登り」を施設近くの川で行いました。川の水の冷たさに児童はおおはしゃぎ。全員が沢を登り切り達成感に満たされました。

野外炊事では「お好み焼き」を調理しました。はじめは難しかった「薪割り」も皆上手く割れるようになりました。薪でおこした火で熱した鉄板で焼いたお好み焼きはとても美味しく出来ました。

4年ぶりとなった夏合宿でしたが、前津江や朝日の児童とも3日間の活動を通して仲良くなり良い夏の思い出となりました。



小学生の活動支援をしてくれた中学生ボランティア

## 宗像地区・大山町こども交流事業「かっぱリング」

9月9日、宗像地区事務組合主催による筑後川上下流域児童交流事業「かっぱリング」が4年ぶりに開催され、今年は福津市のまちおこしセンター「津屋崎千軒なごみ」を会場に、大山町児童10名と宗像地区児童8名が参集しました。

福岡都市圏の水の3分の1は筑後川から供給されており大山川や大山ダムの水と宗像地区の水が繋がっていることや、海洋ゴミ問題など環境学習をしました。

また浜辺で貝殻などを拾い集め、それを使ったキーホルダー作りや、ペットボトルキャップを溶かして再利用する行程を体験しました。



### みんなの料理 〈8月のメニュー〉

- トマトのガスパチョ
- 茄子の揚げ出し
- ジャガイモのサラダ
- あさり貝の炊き込みご飯

8月より新規会員が入会し益々賑やかになっています！

## 【大山公民館 これからの予定】

- 10月11日(水) 女性セミナー 「プロから学ぶ掃除術」講師 小江恭充さん  
10月14日(土) 大山っ子チャレンジ教室 大山スマイル農園での収穫体験  
10月16日(月)～23日(月) スマホ基礎講座 講師 横尾正治さん  
10月25日(水) いきいき大学 「レク式体カチェック」 講師 高宮隆二さん  
11月26日(日) 大山公民館まつり

### 【地域の行事予定】

- 10月22日(日) 大山スマイルマルシェ in ローズヒル天ヶ瀬 (大山スマイルマルシェ実行委員会主催)  
10:00～16:00 (少雨決行)
- 10月22日(日) 第2回博多ジャズオーケストラ演奏会 (博多ジャズオーケストラ実行委員会主催)  
18時開演 場所 大山文化センター
- 10月25日(水) 大山子育て講演会  
(住民自治組織大山地区振興協議会学びの部会主催 大山小中学校育友会後援)  
19時開演 場所 大山文化センター  
演題「～親心の学び舎～考えが変わると子どもへの発言も変わる！」講師 木村貴志
- 10月28日(土) 大山スマイル夜マルシェ (大山スマイルマルシェ実行委員会主催)  
16:00～20:00 場所 大山文化センター (少雨決行)
- 11月5日(日) 第48回大山町ちびっ子相撲大会 (中川原青壮年会主催)  
9:00～12:00 場所 中川原老松神社  
お問い合わせ先 ☎中川原青壮年会事務局 川津省治 ☎090-1089-0654
- 11月19日(日) 大山ウォーキング大会 (大山スポーツ協会主催)  
8:30～9:00 受付 午前中終了 場所 大山公民館周辺の4kmコースまたは7kmコース  
※詳しいチラシは広報ひた11月1日号と共に配布いたします。

## 大山公民館自主学習教室のご紹介 ラッキークラブ

今年の4月からスタートした「ラッキークラブ」は、フレイル・認知症予防として今注目されている「健康マージャン」をはじめ、折り紙、あやとりなど手や指を動かす創作活動などを行っています。

講師は川述裕治さんで現在会員は8名、毎回わいわい賑やかに活動しています。

活動日 毎月第2・4火曜日 午前10時～11時30分

活動場所 大山公民館 202号室 見学・教室体験大歓迎

お問い合わせ先 大山公民館 52-3255



### 館長の一日

暑い夏が過ぎ、もうコロナも終わりかと思いましたがまだ変異し続けています。「ちよつと熱っぽい、コロナかもしれない。人に会われんばい」という話を時々聞きます。本当にしつこい感染症です。

令和二年二月から令和五年五月まで「人が集まること」「人が話すこと」「人が群れること」を自粛することが要請され、罹患した人は行動が制限されました。最初は「何故?」という疑問から、テレビ、新聞はその疑問に答えるべく「コロナにかかる」と重症化します。高齢者や重度疾患の方は最悪の場合死亡します。」と教えてくれました。それによつてみんながコロナを恐れ「三密」の回避とマスクをするようになりました。

多くの集会やイベントが中止されそれを普通と思うようになりました。それから急に社会生活のあり方が変わりICT化が急に進みました。人が集まるのを避けリモート会議が行われ、今までの対面での会議のあり方を考え直す機会になりました。リモートワーク(在宅勤務)の時間も増え通勤と居住地の考え方にも変化があり、無理に都会に住まなくてもよいのではと考える人も出てきました。

またシニア世代のスマホの所有率はコロナの影響で増えたそうで、その利用はオンラインショッピングや友達と話すためという事です。若者社会ではなくてはならないスマホが、コロナをきっかけにシニア世代にも便利な道具として扱われ、シニアも新しいものに挑戦しなければならぬ時代になったのかもしれません。コロナ感染症の流行は多岐にわたって影響を及ぼしました。アフターコロナについてあなたはどうか考えますか。(黒川)